OE19

305441

□要

□明

OE19 □、バレット食道関連腺癌患者の原発腫瘍から得られたヒト食道腺癌細胞株です。この細胞株□、食道癌、特にバレット食道の進行に伴う腫瘍形成の研究に広く利用されています。 OE19 □、上部消化管悪性腫瘍における腺癌発生、治療反応、および耐性メカニズムの分子メカニズムを研究するためのモデルとして機能します。

OE19 細胞□上皮形態を示し、標準的な培養条件下で接着します。この細胞□、侵攻性の高い腫瘍の行動の特徴であり、臨床的に重要な治療ターゲットである HER2/neu (ERBB2) の過剰発現など、食道腺癌に典型的なゲノム変化および分子的特徴を有しています。このため、OE19 □、モノクローナル抗体やチロシンキナーゼ阻害剤などの HER2 を標的とした治療法の試験に特に適しています。 さらにOE19細胞□ ′MAPK/ERK経路やPI3K/AKT経路といったがん進行に不可欠なシグナル伝達経路、ならびに免疫回避機構や腫瘍微小環境との相互作用の解明にも用いられる。

前臨床研究で□ ′OE19 □、薬剤耐性を克服することを目的とした化学療法剤、標的療法、および新規の併用療法の評価に有用です。この細胞株□、異種移植モデルでも、生体内の腫瘍の成長と治療効果を評価するために使用されています。その分子プロファイルとバレット食道関連腺癌との関連性により、OE19 □、この難治性の悪性腫瘍の理解と治療を進展させるための重要な資源となっています。

ティッシュ	食道
病気	腺癌

同義語

- OE-19
- JROECL 19
- JROECL19
- OEC19

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
倍増時間	50~60時間

識別子

引用

OE19（Cytionカタログ番号 305441）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1622

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

変異プロファイル

変異：TP53、単純、p.Asn310Lysfs*27 (c.929dup) (c.929_930ins1)、ヘテロ接合体

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w：2.0mM安定グルタミン、w：2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュテース 10分 37°C
播種密度	2~5 × 10^4 細胞/cm^2

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物 毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、また回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	72年
民族	ヨーロピアン

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB